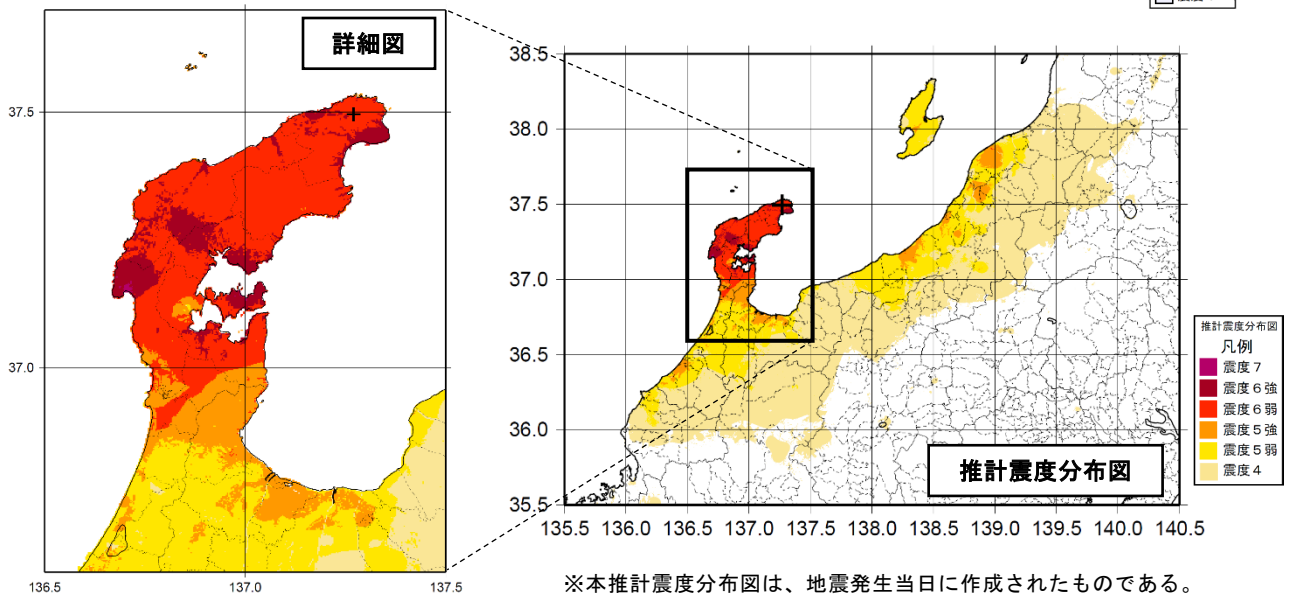
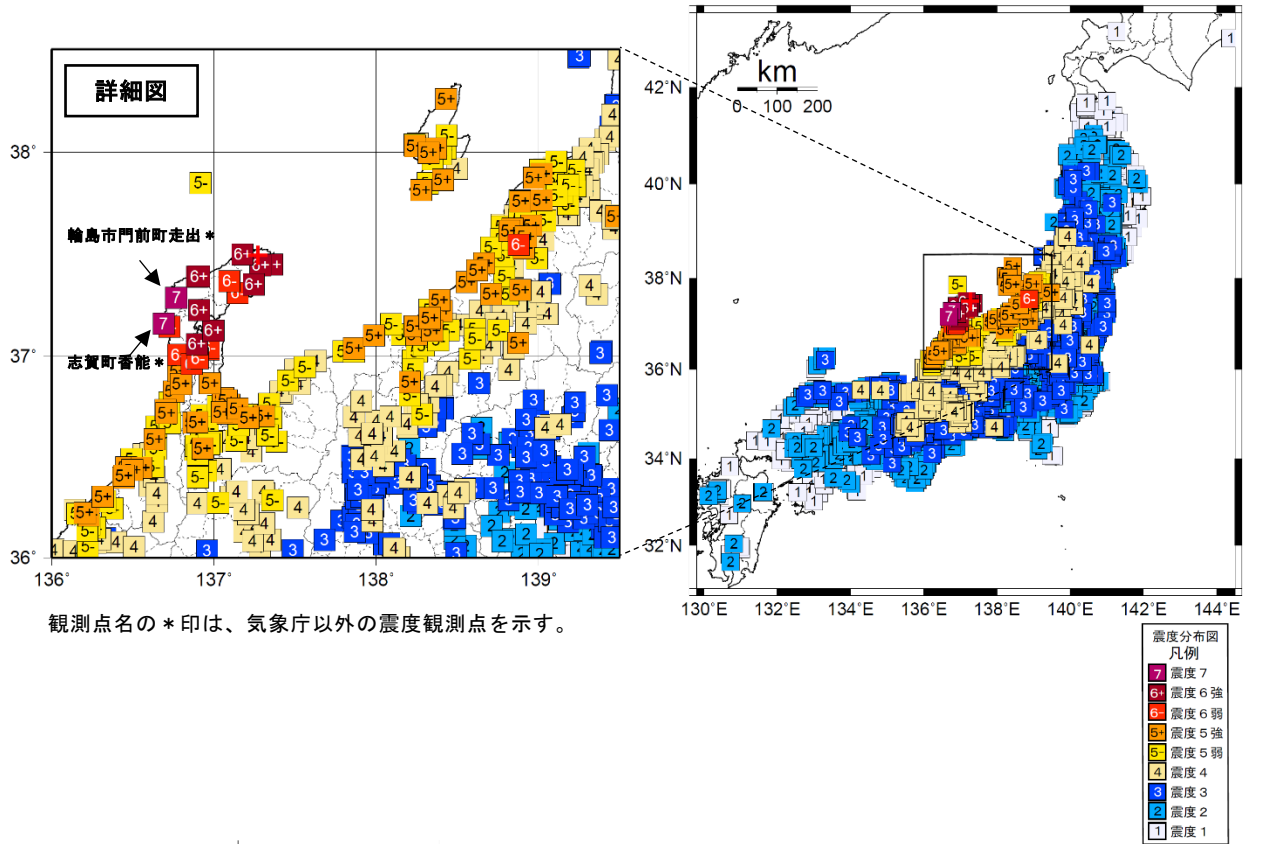


(3) 震度と加速度

2024年1月1日16時10分に発生した地震（M7.6）により、石川県輪島市及び志賀町で震度7を観測したほか、北陸地方を中心に北海道から九州地方にかけて震度6強～1を観測した。この地震の震度分布図を図3-1に、震度5強以上を観測した地点の計測震度及び最大加速度を表3-1に示す。



<推計震度分布図について>

地震の際に観測される震度は、ごく近い場所でも地盤の違いなどにより1階級程度異なることがある。また、このほか震度を推計する際にも誤差が含まれるため、推計された震度と実際の震度が1階級程度ずれることがある。

このため、個々のメッシュの位置や震度の値ではなく、大きな震度の面的な広がり具合とその形状に着目して利用されたい。

図3-1 2024年1月1日16時10分 石川県能登地方の地震（M7.6、深さ16km、最大震度7）の震度分布図及び推計震度分布図（+印は震央を表す）

(4) 揺れの状況

2024年1月1日16時10分の石川県能登地方の地震において、震度6強を観測した輪島市鳳至町、珠洲市三崎町の震度計における、16時10分00秒から16時15分00秒の10秒間毎の計測震度をグラフで示す(図4-1)。輪島市鳳至町や珠洲市三崎町では、震度5強相当以上の揺れが約50秒程度あったことが推測される。なお、この時間帯には16時10分22秒の石川県能登地方のM7.6の地震のほか、16時12分16秒に能登半島沖でM5.7の地震なども発生しており、これら複数の地震による揺れが含まれていると考えられる。これらの地震の震央と観測点の位置関係は、図4-2に示す。

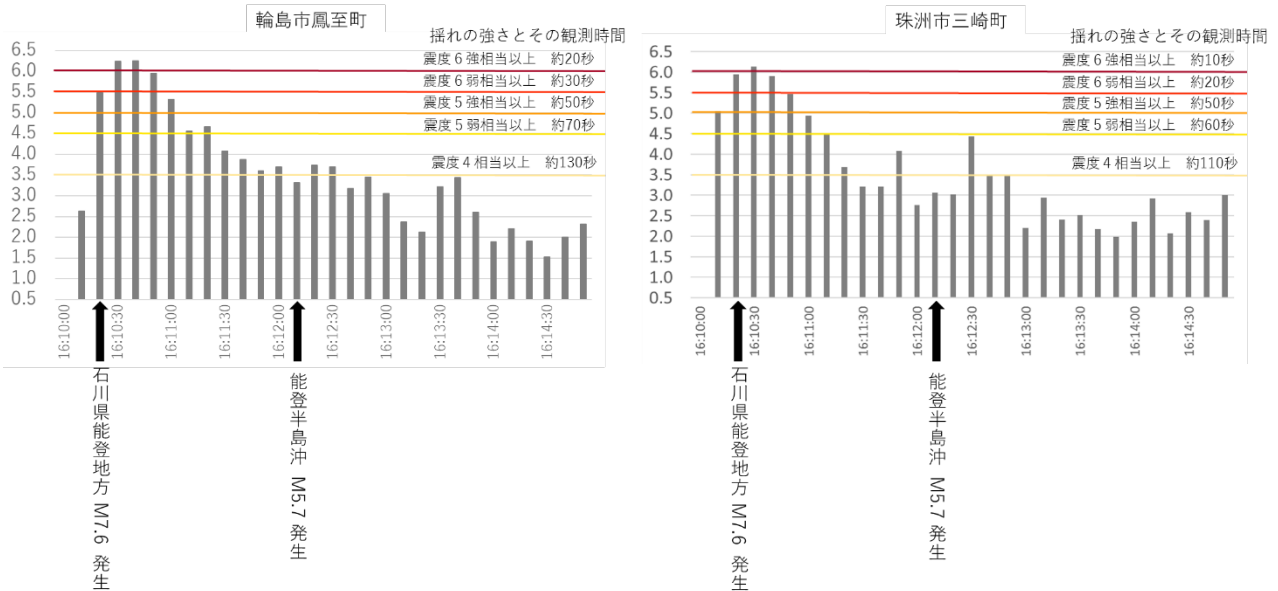


図4-1 輪島市鳳至町及び珠洲市三崎町の揺れの状況(横軸:時刻(16時10分00秒~16時15分00秒)、縦軸:通常60秒間の加速度波形から計算するものを10秒間で計算した計測震度)

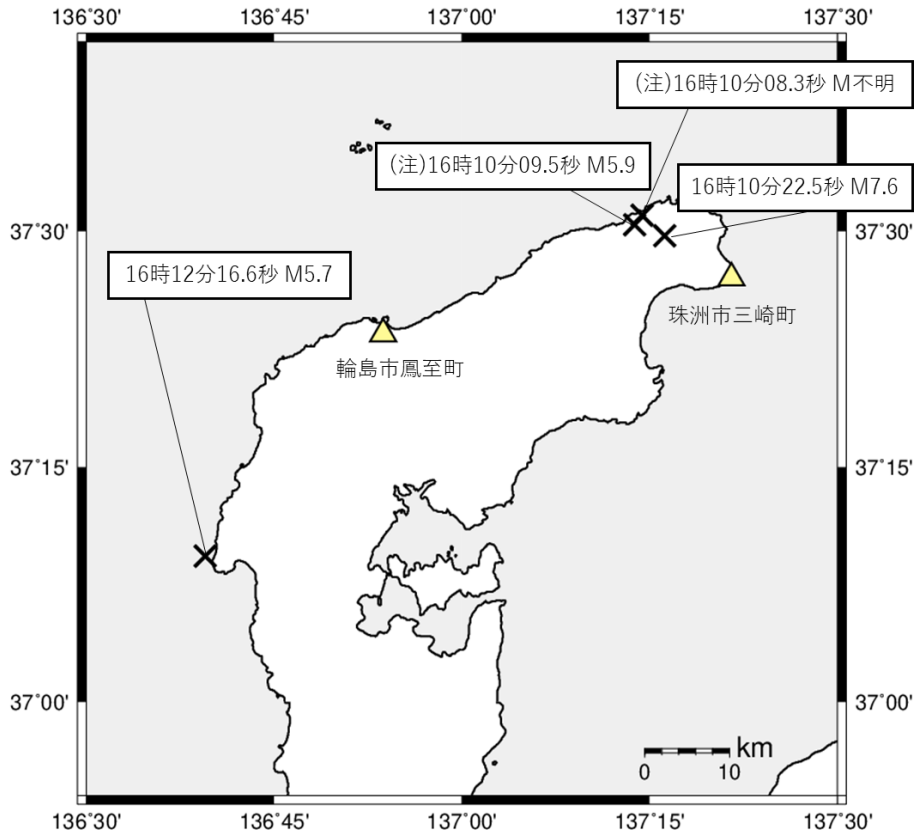


図4-2 2024年1月1日16時10分の石川県能登地方の地震で震度6強以上を観測した気象庁観測点及び16時10分00秒~16時15分00秒に発生した最大震度6弱以上の地震の震央の位置関係(注)を付した地震については、近接した地域でほぼ同時刻に発生した地震であるため、震度の分離が出来ないことを示す。

最大加速度上位10観測点

	観測点名	最大加速度	計測震度
1	K-NET富来(ISK006)	2,828 gal	6.6
2	K-NET輪島(ISK003)	1,632 gal	6.2
3	K-NET大谷(ISK001)	1,469 gal	6.2
4	K-NET穴水(ISK005)	1,280 gal	6.5
5	KiK-net富来(ISKH04)	1,220 gal	5.9
6	KiK-net珠洲(ISKH01)	1,007 gal	6.2
7	K-NET大町(ISK015)	1,001 gal	6.3
8	KiK-net内浦(ISKH03)	936 gal	6.3
9	K-NET正院(ISK002)	917 gal	6.2
10	KiK-net志賀(ISKH06)	804 gal	5.6

計測震度は気象庁告示に基づきトリガ波形全体より計算しており、気象庁より発表される震度と計算区間が異なる

震度の時間変化

